

厚生労働行政推進調査事業費補助金（障害者政策総合研究事業）
分担研究報告書

姿勢保持関連補装具の基準額の国際的妥当性に関する調査研究

研究分担者 白銀 暁 国立障害者リハビリテーションセンター研究所

研究分担者 我澤賢之 国立障害者リハビリテーションセンター研究所

研究要旨

補装具費支給制度は種目毎に基準とその価格を定めている。しかし、特に海外から輸入される製品に関して、基準に即した仕様に対して基準額が見合わないとする意見がある。輸入には長距離の輸送や税関手続き等の費用を要する。こうした機器の価格の妥当性を評価するには、機器の機能と価格の比較に加え、輸入で生じた費用を評価する必要がある。後者の評価を行ううえで、他国での販売価格データが基本的な資料になると考えられた。そこで本研究は、現在、我が国において輸入、販売される姿勢保持関連補装具（車椅子、電動車椅子、座位保持装置、起立保持具、歩行器）から抽出した複数の製品に関して、北米とヨーロッパ、そしてアジア資本主義経済国である韓国での価格の違いを明らかにすることを目的とした。本年度は、より正確な情報を把握するための予備的な調査を実施した。結果、電動車椅子を除き、韓国での価格が欧米平均を上回ったが、仕様に関して詳細な情報が得られなかった部分もあった。より精度の高い調査とするためには、仕様等を更に具体的に指定するとともに、かかる費用に関して多様な情報を収集可能なデザインとすることが必要であることが明らかとなった。

A. 研究目的

補装具費支給制度は、種目毎に基準とその価格を定めている。しかし、特に海外から輸入される製品に関して、基準に即した仕様に対して基準額が見合わないとする意見がある。輸入には長距離の輸送や税関手続き等の費用を要する。こうした機器の価格の妥当性を評価するには、機器の機能と価格の比較に加え、輸入で生じた費用を評価する必要がある。後者の評価を行ううえで、他国での販売価格データが基本的な資料になると考えられる。

補装具のうち、座位保持装置や車椅子などは、輸入された海外製品が多い種目の一つであり、高価な製品も多く含まれている。そこで我々は、我が国において現在、輸入販売されているこれらの製品に関して、海外での価格の調査に取り組んでいる。今年

度は、国内に流通する補装具の幾つかについて、アメリカ、ヨーロッパ、そしてアジア資本主義経済国である韓国での価格の違いに関して予備的な調査を実施したので報告する。

なお、本稿では、座位保持装置と車椅子に、電動車椅子、起立保持具、歩行器を加えた5種目を「姿勢保持関連補装具」と総称することとする。

B. 研究方法

調査対象となる海外製品は、姿勢保持関連補装具として抽出された5種目（座位保持装置、起立保持具、歩行器、車椅子、電動車椅子）から5製品ずつ選定された。製品仕様は、サイズを「M」またはそれに類する中間的なものとし、個人使用想定での標準的なものとした。

調査対象国は、多くの海外製品の開発・製造元である北米および欧州の主要な数国と、位置的に日本に近いアジア圏の資本主義経済国から、アメリカ、イギリス、イタリア、デンマーク、韓国とした。

製品毎に取り決めた仕様(製品型番等)に基づき、それを扱う販売店・代理店を抽出して、同国内で一般的と想定される市場価格の情報を入手した。調査期間は、2019年2月1日から3月25日であり、調査会社を介して実施された。

(倫理面への配慮)

個人情報を含まない文献資料のみを用いた研究であるため、該当しない。

C. 研究結果

調査結果の一部として、代表的な製品について得られた5カ国(アメリカ、イギリス、イタリア、デンマーク、韓国)の価格を日本円に換算し、表1～表3にまとめて示した。欧米平均は、韓国以外の4カ国の価格の平均値を示す。なお、表中の「- (ハイフン)」は、同国において製品の取り扱いが確認できなかったことを意味し、座位保持装置と電動車椅子の価格の「* (アスタリスク)」は、部品の組み合わせがある製品であるものの詳細な構成内容が不明であったことを意味する。

表1 各国における座位保持装置の価格 (単位: 円)

	座位時保持装置	
	A	B
	生産国: イギリス	生産国: ドイツ
韓国	568,300	445,609
欧米平均	517,963	207,930
アメリカ	552,572	-
イギリス	-	144,663
イタリア	446,672*	141,956
デンマーク	554,646*	337,171
韓国÷欧米平均	110%	214%

表2 各国における車椅子・電動車椅子の価格 (単位: 円)

	車椅子 A	電動車椅子 A
	生産国: スウェーデン	生産国: スウェーデン
韓国	277,268	742,682
欧米平均	264,121	950,661
アメリカ	-	889,811
イギリス	260,191	-
イタリア	-	-
デンマーク	268,051	1,011,510
韓国÷欧米平均	105%	78%

表3 各国における起立保持具・歩行器の価格 (単位: 円)

	起立保持具 A	歩行器 A
	生産国: イタリア	生産国: イタリア
韓国	316,878	495,122
欧米平均	173,674	360,271
アメリカ	265,979	421,134
イギリス	138,720	304,257
イタリア	122,069	277,371
デンマーク	167,928	438,322
韓国÷欧米平均	182%	137%

座位保持装置は、生産国の異なる2つの製品の価格を示した。両製品ともに韓国で高く、欧米平均の110%、214%であった。車椅子と電動車椅子は、価格が得られたのはそれぞれ3カ国のみであった。車椅子では、韓国が最も高かったが、欧米平均の105%であった。電動車椅子では、取り上げた製品の中で唯一韓国が最も安く、欧米平均の78%であったが、その理由は明らかにできていない。起立保持具と歩行器は、5カ国すべてで価格が得られ、両者ともに韓国が最も高く、欧米平均の182%、137%であった。

全体として、本調査においては、電動車椅子を除き、欧米での価格に比較して韓国での価格が高くなる傾向が認められた。

D. 考察

韓国は、選定されたすべての製品に関して日本と同様の輸入国であり、長距離輸送等のコストが価格に加味されている可能性がある。しかし、電動車椅子のように、欧米よりも低価格な製品も認められたことから、より正確な情報の収集と分析が必要であることが確認された。加えて、座位保持装置等の部品を組み合わせるタイプの製品では、当然、組み合わせによって価格が異なるため、仕様が十分に明らかでなければ正確な比較を行うことはできない。また、欧米の調査対象国においても、国によって2倍以上の価格差が認められた製品もあり、その理由についても、さらに別途確認する必要があるかもしれない。

また、国によって、付加価値税の有無が十分明確にできていないものも一部に認められた。この点は、特に車椅子Aのような、韓国と欧米平均との価格差が接近しているものを比較しようとする際、特に注意を要するものと考えられる。

本研究は、補装具費支給制度の姿勢保持関連補装具における輸入製品の基準と価格に関して、その国際的な妥当性に関して参考となる情報を得るための予備的調査として実施された。このため、今回明らかになった幾つかの課題は、今後の調査に役立てられる。将来、更なる調査を実施する際には、より詳細に仕様を設定するとともに、かかる費用に関してより多様な情報を収集可能なデザインとすることが必要であると考えられる。

E. 結論

補装具費支給制度の姿勢保持関連補装具における輸入製品の基準と価格に関して、その国際的な妥当性に関して参考となる情報を得るための予備的調査を実施した。日本と同様、調査対象となった製品すべてを輸入する韓国と、生産国を含む欧米平均との

比較から、電動車椅子を除いて韓国での価格が高額であることが示された。加えて、より精度の高い情報とするための課題が明らかとなった。今後、これらの成果を踏まえて計画された、更なる調査が必要である。

F. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

G. 知的財産権に出願・登録状況(予定を含む)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし